

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 568

事務事業名	上下水道局庁舎維持管理業務
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	業務課		
課長名	坂上 正信	内線	53-1116
担当者名	向田 美樹	内線	53-1116

基本目標	-
政策	999999 -
施策	その他
関連施策	

会計	水道事業・下水道事業	
款	1.2	水道事業費用・下水道事業費用
項	1	営業費用
目	4.6	業務及び総係費・総係費
事業コード		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	上下水道局庁舎及び付属設備等		
意図 対象をどのような状態にしたいか	庁舎施設等の管理点検による適正な維持管理を行い、来庁者と職員の快適な環境を提供するとともに業務の効率化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎修繕管理 ・浄水場管理棟清掃委託 ・庁舎内清掃委託 ・電話保守委託 ・高圧受電設備保守委託 ・無線設備保守委託 ・自動ドア保守委託 ・ゴミ収集委託 ・消防設備保守委託 		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 水道庁舎、坂口浄水場管理棟及び浄水管理センターの床面積	計画値	4,819	4,819	4,819	4,819	
		実績値	4,819	4,819	4,819		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 庁舎等の管理不備に起因する業務運営上の事故発生件数	計画値	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0		
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	9,271	9,349	9,581	10,205	9,713	9,713	9,713	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	9,271	9,349	9,581	10,205	9,713	9,713	9,713	
② 人件費(千円)	2,384	2,267	2,116	2,182	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	11,655	11,616	11,697	12,387				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	来庁者へ快適な環境を提供するために、老朽化していた空調機室外機を交換するなど、必要な修繕工事等を実施した。 平成28年度から「大村市障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針」に則って、上下水道局庁舎周辺の除草作業業務委託を実施した。今年度は、さらに上下水道局庁舎トイレの特別清掃業務委託を実施する。
事業が抱える問題・課題等	局庁舎の老朽化は進行しており、雨漏やその補修、外壁のクラックや剥離の補修などで維持管理費は今後も増加すると思われる。 局庁舎の建替について、市役所本体の建替や新しい街づくりの計画に併せ、検討する時期が到来している。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	空調機の適正な維持管理や悪化していたトイレ環境の改善など、来庁者へ快適な環境を提供することを重視した維持管理を行う。平成28年度から取り組んだ障害者優先調達(除草業務委託、トイレ特別清掃など)については、その履行状況等を十分精査した上で、平成29年度以降も継続して実施していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	上下水道料金の納付や上下水道事業関連工事のためなどに来庁される方へ快適な環境を提供することで、上下水道局のイメージを向上させるとともに、業務に従事する職員の業務効率化へも貢献する。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。